

鹿乗川流域遺跡群

発掘だより

令和8年度
第4号

そのほか連絡事項

- ・参加費無料、予約不要
- ・少雨決行
- ・駐車場はご用意がございませんのでご注意ください。
- ・現場は足元が悪くなっております。歩きやすい靴でお越しください。

地元説明会のご案内

令和8年度の鹿乗川流域遺跡群の発掘調査も、いよいよ佳境をむかえました。向田遺跡では、古墳時代の初頭(約1600年前)の水田と思われる遺構、江戸時代ごろの旧河川を確認しました。現在発掘調査が進行中の中狭間遺跡では、南北に通る中世の区画溝などを確認しています。これらの発掘調査成果をみなさまにお披露目します。

日時

令和8年9月26日(土) 午前10時～12時

場所

中狭間遺跡調査区

名鉄桜井駅より徒歩約25分・桜林小学校より徒歩約7分

主な内容

中狭間遺跡発掘調査区の現地見学

中狭間遺跡・向田遺跡の発掘調査成果のパネル展示

中狭間遺跡・向田遺跡出土遺物の展示



地元説明会会場のご案内 (国土地理院地図より作成)



第1号



第2号



第3号

今年度の発掘だより

地面に残る足跡をたどる

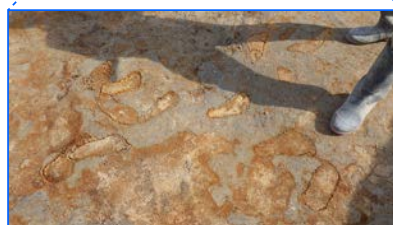
秋葉下橋の東に位置する向田遺跡B区では、江戸時代ごろに埋没した河川が見つかりました。さらに、埋没した土の上からは、小さな穴が無数に見つかりました。長さは約20cmで、一端が大きくふくらみ、もう一端が小さくふくらむ、ヒョウタンのような形をしています。これらは人間の足跡です。ぬかるんだ地面の上を歩き回ると、このように足跡が残ることがあります。表面の粗い砂を取り除くと、指の痕も残っていることがわかりました。裸足で歩いていたようです。

今回の発掘調査では、ひとつの足跡を複数の方向から撮影し、写真をつなぎ合わせて3Dモデルを作成しました。3Dモデルを横からみると、つま先が深く、かかとが浅いことがわかります。足跡を残した人は、ぬかるみの中をぐっと前に踏み込んだようです。



▲向田遺跡B区の足跡
(西から)

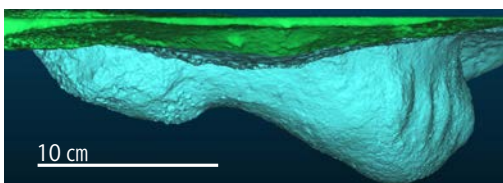
白い砂や灰色の粘土によって、河川が埋まったあとに人が歩き回った。



江戸時代の人が裸足でぬかるんだ地面を歩く状況とは、どのようなものだったのでしょうか。発掘調査では同じような足跡が、田んぼの上から農作業の痕跡として見つかることがあります。今回の調査では、江戸時代の水田は見つかりませんでした。しかし、もしかしたら近くに水田があったのかもしれない。



足跡の写真…指の痕が残る



足跡の3Dモデル

足跡を横からみた様子

鹿乗川流域遺跡群

発掘だより

令和8年度 第4号

令和8年9月発行

編集・発行 公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団

愛知県埋蔵文化財センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ケ須町野方802の24

電話 (0567) 67-4161 【管理課】4163 【調査課】

ホームページ <https://maibun.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/maibunaichi>

Instagram <https://www.instagram.com/aichimaibun/>

X https://x.com/aichi_maibun

